

# 平成 18 年度第 7 回 太田地域協議会会議録

と き : 平成 19 年 2 月 20 日 午後 1 時 30 分

と ころ : 太田文化プラザ「多目的ホール」

太田地域協議会会議録

---

平成 19 年 2 月 20 日 (火曜日)

---

議 事

議事第 1 号平成 19 年度地域枠予算について

- ・太田地域協議会小会議の報告 (12/28・2/9)(資料 1)
- ・地域枠予算の執行方針(案)について (資料 2)

報 告

地域枠予算事業

- ・冬季少年野球教室
  - ・太田地域ふるさと講演会「小松由佳」
- 

出席した者の氏名

出席委員 (15 名)

加藤進委員	伊藤昭子委員	大信田弘喜委員
大信田康雄委員	草薨太郎委員	倉田良子委員
小松誠委員	今野勝代委員	鈴木弘之委員
鷹觜信行委員	高橋美佐緒委員	田口誠毅委員
福原榮司委員	藤澤由希子委員	藤原鈴司委員

---

欠席委員 (3 名)

小松一男委員	佐々木ミネ子委員	田口良平委員
--------	----------	--------

---

太田総合支所

太田総合支所長	鷹觜 均	地域振興課長	大信田哲男
地域振興課参事	川瀬京子	地域振興課副参事	鈴木喜一
地域振興課主席主査	谷口藤美	地域振興課主査	小松明彦

---

午後 1 時 30 分 開 会

地域振興課長

本日は、お忙しいところご出席くださりまして誠にありがとうございます。

ただ今から平成 18 年度第 7 回太田地域協議会を開会いたします。

本日の協議会は、委員の 2 分の 1 以上が出席しておりますので、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第 9 条第 3 項の規定により本会議は成立したことをご報告いたします。それでは早速会を開催いたします。最初に太田地域協議会加藤会長よりごあいさつをお願いいたします。

#### 加藤進会長

委員の皆さん今日は、お忙しい中ご出席いただきまして本当にありがとうございます。今回の協議会は、今年初めての協議会であります。昨年同様ひとつよろしく願い申し上げます。さて、今年の冬は暖冬と言うことで雪も少なく大変しのぎやすい日々を過ごしているという状況であります。昨年の冬とはうって変わった天候となっております。これも昨年に引き続き異常気象でないかと思っているところです。夏には、水不足等が考えられるのではないかなーと推測されております。さて、昨日ですか、大仙市の予算が公表されているようですけれども、かなり厳しい財政状況であると言う事が新聞等に報道されております。いずれ一般会計で 428 億円弱と言うようなことになっております。昨年度比 16 億円程度減と率にして 3.6%弱が減額になるというようなことであり、しかも職員の給料まで減額されるということの報道でありました。いずれ緊縮型の予算には間違いのないと思われまます。今回の地域協議会については、議事は、平成 19 年度の太田の地域枠予算について、皆さんから忌憚のないご意見を拝借いたしまして決定して参りたいと思っておりますのでよろしくご協議していただくようお願い申し上げます。ごあいさつにかえさせていただきます。どうもありがとうございました。

#### 地域振興課大信田課長

ありがとうございました。次に太田総合支所の鷹嘴支所長がごあいさついたします。

#### 鷹嘴均支所長

ご苦労様です。先ほど加藤会長の方からもお話がありましたけれども、昨日、平成 19 年度予算について、議会の方へ内示いたしました。その中で職員の給与まで手をつけなければならないというこのような厳しい財政状況であります。歳入と歳出のギャップですが 52 億円これを埋めるために基金の取り崩し、それから交付税等の歳入の見直し、応分の負担といいまして利用する方々からの利用料の若干の引き上げ、それらをやってもなお財源は不足と言う厳しい状態があります。でもそんな中でも地域枠予算は大切なんだと言うことでそれぞれ昨

年同様の予算を確保してございます。この考え方ですけれどもこのような厳しい中でも、その地域にある課題と言うものは8地域それぞれ違うわけで一般の予算の中で事業をこなしてサービスを提供する。そのほかに地域の課題を即決して元気の出せる予算である。これが非常に大切である。額は500万円ではありますが使い方によっては、1千万円さらには、もっともっと大きい効果を出せるそのお金であると言えるのではないかと思います。それだけ市長の方も地域の活性化というものを大事にしているという見方も出来ると思います。今日は平成19年度の地域枠予算について審議検討されるようでありましてけれどもどうやってこの太田を活性化、元気にしていくのかそういう視点からも大切な19年度の地域枠予算の事業でなかろうかと感じます。そのような立場から検討を加えることもひとつの方策だろうと、それから少ない予算でいかにして地域を元気にしていくのか、お金が無くても出来る事業もあるかもわかりません。いずれそれは、皆さんの今後の活動と言いますか、地域の声を吸い上げた事業計画と申しますか、活動それいかににも関わってくるだろうと思います。皆さんのご活躍、ご健闘をご期待申し上げます。終わります。

地域振興課大信田課長

それでは、さっそく会に入りますけれども進行を会長にお願いいたします。

加藤進会長

さっそく、会に入りますが、その前に、会議の議事録署名委員を私の方から指名させていただきます。大信田康雄委員と倉田良子委員にお願いいたします。それでは、おてもとの会議次第に基づいて進めさせていただきます。議事に入ります。議事第1号「平成19年度地域枠予算について」最初に太田の地域枠事業について、12月28日と2月9日の2日間、地域協議会の小会議を開催しておりますが、その小会議の結果等について報告を座長でありました大信田康雄委員よりお願いいたします。よろしくお願いいたします。

大信田康雄委員

私から、昨年12月28日に地域協議会の小委員会が開催されましたその内容についてご説明申し上げます。委員は、倉田良子委員・小松一男委員・今野勝代委員・田口誠毅委員それに私大信田康雄の5人で提案事項について取捨選択と言いますか検討するように委任されたということでさっそく協議いたしました。その結果をかいつまんで申し上げます。資料1ですが、事前に皆様のおてもとに届いておりましたのでご覧いただいたと思いますがこのとおりでございますが若干内容をご報告いたします。1番の「太田の秋まつり」事業についてはこ

ここに記載のとおり名称、主催者等が代わったりといろいろ経緯はあったけれども、合併前数年来開催してきているので地域を元気にするためにも是非実施したいということからそれに要する経費として50万円を計上しました。2番目の「秋田わか杉国体歓迎幟旗1家族1本運動と移動花車」の件ですがこの事業につきましては、半世紀に一度しかこない一大事業でありますのでご提案の趣旨に沿ったような歓迎をみんなでやるべきだろうというご意見が多数ではございましたけれども、それぞれ経費等については検討いたしました。幟旗については、それぞれ各小学校の生徒さんをお願いすることにいたしまして、学校のほうでも考えておられるようですので出来るだけお願いしようということにしました。移動花車の件ですけれどもこれは、6番の「地域活性化推進事業（花いっぱい運動を強力的に支援）」の中で最大限活用していくようにしていったらどうかということで諸経費として10万円を計上いたしました。3番の同じく「地域活性化推進事業（基幹産業である農業の活性化）」の件ですが、これについては、非常に大事な事業でありますけれども太田地域だけで考えるよりも市全体で考えていただいた方がいいだろうということと予算面でもかなりかかるわけですので本予算の方でお願いするということと今回は見送りさせていただきました。

次の4番「地域活性化推進事業（各界の著名人の講演会）」と7番「委員レベルアップ推進事業」10番の「文化講演会の開催（山本一力さんの講演会）」の件については、同じような共通した面がありますのでこれにつきましても、大事な事業ではありますけれども一括して考えていこうということにしました。4番については地域づくり研修会の中で対応していくこととし、7番の委員の「レベルアップ推進事業」については、昨年も2度実施いたしました。やはりこの地域づくり事業の中で対応していくこととしました。10番については、芸術振興事業の中でお願いしようということにいたしました。それから5番目「太田地域を語る市民の集いの開催」であります。昨年も実施しておりますので同じような内容で実施してはどうかということと支所のほうにお願いするということで、その経費としまして15万円をみました。それから6番の「地域活性化事業（花いっぱい運動を強力的に支援）」ですがこれは、先ほどの2番の国体関係の事業と連携してやっていただく、こちらの方を主たる事業としまして花を国体にも活用して使わせていただくということと120万円を見て行こうということになりました。これは、2番の「秋田わか杉国体歓迎幟旗1家族1本運動と移動花車」事業と両方で見えていこうということとでございます。特に花いっぱい運動の関係であります。今までも太田地域は、全県的にも全国に誇れる事業としてやってきておりますので大事にしようということと、2番の事業秋田わか杉国体のロードレースの沿線には、プリンターを利用しそして市民全体で

国体の歓迎ムードを高めようと言うものであります。なお、この花いっぱい運動の事業は、公民館でも本予算のほうでも対応して行こうと言うことで要求しておりましたが、大事な事業でありますのでとりあえず地域枠予算でフォローしていこうということで不確定でありましたので昨年とほぼ同額の120万円を見た経緯がございます。次に8番「冬期間の独り暮らし世帯高齢者への支援事業」ですけれどもこれについては、それぞれの地域で青年会とかでいろいろなボランティア活動をやっておりますし市全体でも除雪の中で入り口の除雪等やっているという事情もございまして、今回はとくに新聞紙上に何度か掲載されましたけれども大仙市除雪ゆきまる隊をボランティアで立ち上げましたのでこれを最大限活用していただくことで、今回この枠の中にははめ込まないと言うことで対象外とさせていただきます。それから9番「おはなしたまごがはじまるよ!」と13番「子供の心を育てる読み聞かせ事業」についてはある意味では、共通した事業内容でありますので一体として考えていったらどうかということですが、これは地域づくり事業補助金の方で一括してみたいということでもあります。内容としては資料のとおりですがそれぞれ10万円あります。

11番「道路案内標識の充実及び公的施設へのポスターの設置」と12番「東北マスターズスキー大台大会の運営費」でありますがこの二つの事業は、太田地域特有の事業であり大事なものですがなにせ500万円と言う限られた予算から見ますと非常に荷が重すぎるのではないかということでありました。ただ12番の「マスターズの大会」につきましては、大台スキー場という特別な大仙市においては、一番条件のいいスキー場がありますので当地域の活性化のためにも是非必要であろう。ただ、これもやっぱり市全体として本予算の方で頑張っていたらこうという話になりました。最後の14番「太田町道路愛護支援事業」であります。これは、市の建設課の方の提案事業であります。河川愛護とかいろいろボランティアでやっている事業があるわけですが、この道路愛護については、従来旧太田町が独自にやっているボランティアであり、今までもいろんな意味で熱心にやっていただいているし地域をあかるくする意味でも継承していくべきであるという考え方でございました。実際は、48の団体があるそうです。従来は、会の代表者に活動謝礼として千円を出していたそうです。今回も本予算の方で対応したいと言うことで要求してありますが本予算では、対応できないと言うことで何とかこの地域枠予算でお願いしたいという建設課のほうのご意向もありまして続けましょうということと9万6千円見てございます。28日の小委員会の方で検討するようと言うこととありました14の事業内容については以上で1次査定を受けるべきことと支所の方でお願いしたわけであり。その結果2月5日の1次内示の結果は先ほど申し上げました「花いっぱい運動」

の事業予算ですが公民館の方で本予算にお願いしたのが、目いっぱいついたということでその分をやれない事業あるいは、他の事業に按分したらどうかということで、2月9日に再度小会議が招集されまして実施いたしました。そこで検討されました事が、資料1の「平成19年度大仙市太田地域枠予算一覧表(案)」のほうに総括表としてありますが、変更前、変更後ということでお知らせしております。白抜きの方が変更前12月28日にお願いした額であります。花いっぱい運動の予算がついたということで按分したものが変更後ということで緑色につぶしたものでございます。これで、お願いしようということでおりましたところ先ほどの支所長並びに会長からのお話でありますと、昨日、本内示が行われ若干また内示の内容が違って参りました。先ほど申し上げるのを忘れてしまいました。本来今まで本予算で対応しておりました「ニッコウキスゲ鑑賞登山」12万5千円が一次内示では無理と言うことの指示があったようですがその後支所の方で頑張った結果と思っておりますが、本予算についてということはこの辺についてまた若干変更ということになるかと思っております。その辺のところ会長である議長から協議いただきたいと思っております。一応12月28日、2月9日の両日委任されました14の事業について検討した結果は以上であります。

加藤進会長

ありがとうございました。小会議の結果について報告をいただきました。事務局の方から何かありましたら。

地域振興課鈴木副参事

大信田座長さん大変ご苦労様でした。1次内示が2月6日ありまして、最終内示が議会に示されましたのが2月15日、本庁から正式に内示を受けたのが翌日の2月16日でありました。いろいろ状況が変化してまいりまして小会議を2回にわたって開催し検討していただきました。「ニッコウキスゲ鑑賞登山」事業については、1次査定の段階では、地域枠予算で対応するということでありましたが、その後の最終内示で本予算の方で復活いたしました。地域枠予算では、12万5千円を予定しておりましたが、本予算の方で対応するということでもあります。本予算の内示額では、10万8千円でありましたがまあまあこの程度で実施できるのかなーと思っております。ということで12万5千円については、地域枠予算では使わなくてもよいということでもあります。この分をどうするのか、地域枠予算の各事業に振り分けるのかその辺のところを皆さんからご審議いただきたいと思っております。

加藤進会長

はい、大信田康雄委員どうぞ。

大信田康雄委員

小会議の方で検討した結果で事業としては、大事であるけれども予算の関係で見送りしようという事業が数事業あるわけですが、事務局のお話のように「ニッコウキスゲ鑑賞登山」、「花いっぱい運動推進事業」の予算額をからめて選択漏れになった事業もやるべきだろうと言うご意見がありましたら、小会議ではこのような結果になりましたがそこいら辺も含めてご協議よろしくお願ひいただきたいと思います。

加藤進会長

ありがとうございました。ただいまの大信田座長さんのご説明と事務局の説明も併せて、たまたま「ニッコウキスゲ鑑賞登山」12万5千円が、今のところ行き先がないと言う感じになっておりますけれども、この辺の使い道も含めて皆さんからご検討して決めていただければと思いますのでよろしくお願ひいたします。

2回にわたって小委員会でご検討されて決定されてきたのでこれ以上は変わりはないかと思ひますけれども今の「ニッコウキスゲ鑑賞登山」12万5千円については、他の事業にもまわせるのではないかと言えらると思ひます。

急のことであり案が出てこないかもしれませんが、他の事業を実施することにより過不足は、生ずることもあろうかと思われまふ。その辺も含めて検討いただければと思ひます。はい、どうぞ。

藤原鈴司委員

小会議で決められた事業については、私は、これでいいと思ひます。尊重いたします。大賛成です。「ニッコウキスゲ鑑賞登山」12万5千円についても今、会長さんが申し上げたように当然事業をやっていくと過不足が出てくると思ひますのでその過不足に利用されるということでもいいと思ひます。あと私の方からの、お願ひと言ひますか意見でありますけれども地域枠予算の事業の1つ「秋田わか杉国体歓迎幟旗製作事業」の件ですが参考意見ということで、この間スキー国体が田沢湖でありましたけれども私も8日間役員とすることでそこにずーと張り付いておりましたが、そのときの感じを受けた限りでは、非常にすばらしく国体を盛り上げたなーと思ひました。幟旗ひとつにしても全部「ようこそ仙北市へ」となっており仙北市全体であるいは秋田県全体で国体を盛り上げているんだよという雰囲気非常に強く伝わってきました。大仙市で今度9月に本国体がありますが太田地域の中で盛りあげようと予算編成しておりますが、



できれば大仙市ということで大仙市全体にうまく盛り上げていくようにこの太田地域の事業を太田地域以外の大仙市内にも呼びかけ同じ行動をしましょうと他の支所にも呼びかけて盛り上げていきたいな—とこの間の仙北市のスキー国体をみて強く感じました。以上です。

加藤進会長

はい、どうぞ。

福原榮司委員

まずもってこのように予算を取りまとめていただきました各委員の方々、当局に対しまして大変ご難儀をおかけし本当にありがたく思っております。私は、この予算案に対して大賛成です。それを踏まえまして、1つか2つ私なりに感じた点申し上げさせていただきます。

私も、この地域枠予算については、関心がありまして、6つの事業を提案いたしました。この資料にありますとおり3番目の「地域活性化推進事業（地域産業である農業の活性化）」であります。農業を取り巻く事情が非常に厳しく4月からは、なお一層厳しくなります。そのせいかどうか農家のかたがたがどうも元気がない、笑顔がない、歩いているところを見てもなんかうつ向きかげんで、と言う内容からも農家の方々を応援する方法と言う意味で、地域枠予算の3分の1の額160万円位を農家のため元気が出るような意味で事業を提案しておりました。もともと私は、太田の地域というものは、基幹産業である農家が元気にならないことには、決定済みになりました諸々の予算もなんかスムーズに展開しないのではないかと常々思っておりました。しかし残念ながら先ほどの説明にあるとおりこの予算には対しまして×印が付けられ決定金額はゼロ円であります。誠に残念であります。正直なところがっくりいたしました。地域の農家の方々も私のような思いではなかろうかとそんな感じを受けているわけでございます。私もこのような会議を経ながら地域枠予算というものはどんなもんであろうかと私なりに勉強してまいりましたがなじまない、とそんなわけで残念に思っているところであります。でも考えてみればなじまないとは言いながらも農家の方々が緊急な課題と受け止めている以上は、もう少し地域枠予算の考え方と言うか、拡大的に解釈し柔軟に対応してもらえなかったものなのか、そんな感じを受けております。そして、もう1つの見方もあったのではなかろうか、と言いますのは、私ども合併いたしました合併当初、各市町村単位に自治区と言うものを設けました。

自治区と言うものは、私も耳慣れない言葉ではありますが私は、総合支所をさしていることだと思えます。各地域に自治区と言うものを持っているからには、

自治区ごとの独自の施策なり農政の展開があってしかるべきものとそう認識して来たわけです。でも決定は決定でございます。私どもの地域の認識のずれが生じたものと受け止めておりますけれどもコメントにもありますように本予算で云々・・・とありますのでどうか農家の方々がもう少し元気になるようにこの際この場を借りましてせつに地域振興課の方をお願い申し上げまして私の感じたことを申し上げさせてもらいました。どうもありがとうございました。

#### 加藤進会長

どうもありがとうございました。貴重なご意見ありがとうございました。いずれその方向で本庁の方へお願いしてみたいと思いますけれどもひとつよろしくお願い申し上げたいと思います。

はい、どうぞ。

#### 鈴木弘之委員

委員の皆さんには、大変ご難儀をかけました。2・3感じたことを述べさせていただきます。太田地域枠予算一覧表(案)の3番にあります「集落会館等周辺環境施設整備事業」について、前回も述べさせてもらいましたけれども合併するとき旧太田町の方から各地域にお金をいただきました。各地域ではそのお金をどのように使ったらいいのかかなり悩んでいるようですし、本来はそのような所にお金を使ったらいいのではないのかなーと思っているところです。9番の「秋田わか杉国体歓迎幟旗製作事業」ですが、幟旗を作って大会を盛り上げようと言うことでございますけれども、国体事務局のほうでは、これについて各学校の子供たちに幟旗を作ってもらおうということで予算をとって、今後本庁の方から予算が各学校のほうへおりてくるというようなことも聞きましたのでこれもいらないとは言いませんがもう少し考えて予算を計上したほうがいいのではないかと考えます。ダブって予算を出す必要はないと思います。福原委員が農家の方々が元気が無いと言う意見ですけれども私もそう思いますが主要農産物の出荷についてですが市の方から、出荷補助金・作付け奨励金の補助金をいただいておりますが農家の方々はそれを目指して頑張っております。生産拡大を図り生産者が意欲を持って取りくめるよう今後もこの出荷奨励金をなくさないで継続していただくよう地域協議会で本庁の方へ要望していったらいいのではないかと思います。もう1つ8番の「道路愛護支援事業」9万6千円の事業ですけれども、私どもの上堰集落では、今「農地・水・環境保全向上対策事業」のほうに手を上げておりまして、どのようになるのかわかりませんが今日の新聞では市の方で1億円ぐらいの予算を見ていると言うことなので道路愛護等に対応できるのではないかと思います。そこいら辺本庁

の方と意見交換等必要ではないかと思えます。以上です。

加藤進会長

はい、ありがとうございました。はい、どうぞ。

今野勝代委員

私は、先ほどの福原委員の意見にすごく感動しました。それで思ったんですけども1番の「地域づくり事業補助金」ってありますけれども、太田町の活性化のために頑張っている地域・団体に対して補助金を出すというものです。主に昔で言えば、部落で頑張っている団体とか青年会に出してきたんですけどもそれをもっと柔軟に考えて読み聞かせの会のほうもこの事業で対応するとこの間の小会議でなつたと記憶しております。福原委員さんが話す事は本当にごもつともなことで農家の人達も今すごく工夫して会合開いたりして身近で寄り合って部落の会館等で話し合ったりして何とかして盛り上げていこうと工夫しています。昨年の春に中学校の田植えに行ってきましたけれども校長先生が家で田植えを手伝った事があるかと聞いたら8割位手を上げました。と言う事は8割以上の家が実際に田をやっているわけです。中学生ですけども、と言う事は農業をやっている家がほとんどであるということです。そうすれば、農業で頑張っているそういう取り組みに対して取り上げて紹介していくと言う事がすごく大事だと思うんです。来月12日に「自治会等支援事業実施団体実践活動報告会」がありますけれども農業に対しても頑張っている人達に補助金を差し上げて発表していただければお互い励みになり元気になるのかなーと思いました。「地域づくり事業」というものを柔軟に解釈して、偏らないでいろんな方面に対して補助金を出していくと言う姿勢で行ったらいかなものでしょうか。ご検討願います。

加藤進委員

はい、ありがとうございました。事務局お願いします。

地域振興課鈴木副参事

今野委員のご意見についてですが、この地域づくり事業補助金は、大仙市で作った補助金の交付要綱がありまして、その要綱と言うのは、あとで触れますが資料2の地域枠予算の執行方針(案)のボランティア等の各種自主活動団体の活動を支援する方法として、地域づくり事業ということで事業概要、事業目的ということでありまして、要綱、目的についてはこの内容のとおりですがいわゆる農業団体に対しても、おっしゃられるとおりでありましてそのような任意の

団体にも限度額 20 万円まで補助金の支給ができるという中身になっております。主に事業内容につきましてはここにありますように「地域に伝わる芸能や文化・・・」等 4 つあります。農業についても拡大的に解釈すれば可能と思えます。福原委員の提案につきましては、小会議でもいろいろ検討いたしました。それから担当であります農林振興課のほうにも協議いたしまして決定した訳ですが、一番決定する際に考えた事は、確かに地域枠予算ですので各地域の考え方でやってもいいわけですが、他の地域にも何らかの影響を与えるということと今農業政策がいろいろ変わってきているのでそういった状況を見ながらでも支援する方策がこれから検討できるのではないかというようなことでとりあえず 19 年度につきましては、様子を見ることもありまして本庁の予算で検討していこうかなーと思ひまして農林振興課のほうとも協議しまして決定したものであります。

加藤進会長

福原委員よろしいですか。(福原榮司委員)わかりました。

地域振興課鈴木副参事

鈴木弘之委員の「集落会館等周辺環境施設整備事業」につきましては、合併前に太田では、各地域に育成基金ということで交付した経緯がございます。今の状況を見ますと今回この事業に要望の出ている 4 箇所につきましては、今年度まで会館を改修した地域と 19 年度で会館を改修する地域の方から要望が出てきております。と言いますのは、会館を改修したところは、基金を全部使ったということで会館周辺を整備するためにいくらかでも支援できないかという要望です。それから 19 年に会館を改修する集落では、改修のためにお金を使ってしまうので支援いただきたいという強い要望が昨年来出てきております。後で、「大仙市太田地域集落会館等周辺環境整備事業支援費事務取扱」について説明いたしますが、地域のほうから強い要望がありまして、地域枠予算に(案)として提示したところであります。「秋田わか杉国体歓迎事業」につきましては、私どものつかんでいる状況では、国体準備室の方でも予算が少なく、地域で歓迎する分については地域でいろいろ工夫をしてやってくれないかという要望がありまして、公民館のほうとも連絡いたしましていくらかでも地域枠で対応して行きたいということで考えております。それから、「道路愛護推進事業」ですが「農地・水・環境保全向上対策事業」とダブる面が出てくるわけですが、各集落にいろいろな自治会支援の補助金がいっているわけですがこれについても従来どおりということでもありますので、これらについては、もうちょっとつめた形で検討して参りたいと思ひます。あと出荷奨励金につきましては、継続

できますように課の方をお願いしたいと思っております

加藤進会長

はい、鈴木弘之委員よろしいですか。他にございませんか。  
ないようですので、小会議で決定されたものを本協議会で決定ということにしたいと思います。ご異議ございませんか。  
(全委員 異議なし)と、いうことで小会議のほうで決定されたものが決定となりましたのでよろしく申し上げます。次に地域枠予算の執行方針(案)について、事務局からご説明をお願いいたします。

地域振興課鈴木副参事

資料2でございますが先ほどの大信田座長さんから説明があった変更後の一覧ということで提示してございます。11番の「ニッコウキスゲ鑑賞登山」については、本予算で10万8千円程度予算がついたということでこの件の取り扱いについてあとでご審議願いたいと思います。次ページ「平成19年度地域枠予算の執行方針(案)太田地域」ということで3月9日まで、本庁へ提出する必要がありますので今日は、皆さんからいろいろご意見を承りながら修正なり変更なりして提出したいと思っております。これを事前に大仙市長が見まして3月23日の地域協議会の際に市長がみえまして説明を伺いたいと言うことのようにあります。よろしく願いいたします。(「平成19年度地域枠予算の執行方針(案)太田地域」について詳細を説明しました。)先ほどもお話ししましたがけれども「ニッコウキスゲ鑑賞登山」については、本予算で予算がついておりますのでこの件の取り扱いについてよろしくご審議願います。

加藤進会長

はい、ありがとうございます。これについては、資料1でもご説明ありましたがけれどもダブっているわけですが、今ご説明ありましたように「ニッコウキスゲ鑑賞登山」については予算が削除されるということです。いずれ先ほども話されましたように予算執行上過不足が生じた場合の予備費に当てるという考えもあるかと思っておりますけれども皆さんどのように思っておりますか。他に何かよい方法がありましたら提案願います。当座予備費的な考え方で行きたいと思っております。よろしいでしょうか。(委員 異議なし)そのようにさせていただきます。執行方針(案)について他になにかございませんか。はい、どうぞ。

福原榮司委員

新年度予算が決まりますと、その年の目玉予算と言うものがあるわけですが当

協議会の地域枠予算の目玉となるのはどれにしたらいいでしょうか。

#### 地域振興課鈴木副参事

当地域で合併前からずっとやってきている事業で一つは「花いっぱい運動」金額的には地域枠予算で40万円ではありますが、太田地域は、従来から太田花の会が中心になっていろんな地域花壇が整備されてきております。それから地域づくり事業ということで地域活性化事業も含めまして「太田地域を語る会」・「地域づくり研修会」を継続的にやってきていると言うことで、主にこの2つとあと、もう1つ「芸術文化振興事業」これは、公民館でやっている事業ではありますがこの3つの事業については、他でやっていない太田地域独自でやっている事業でありますので特徴ある事業ではないかなーと考えております。

#### 福原榮司委員

はい、わかりました。地域に帰って聞かれた場合話すことができます。ありがとうございました。

#### 地域振興課鈴木副参事

地域枠予算につきましては、地域協議会で決定されまして、来月、市長が見えたときに会長さんをご説明するわけですが、いずれ地域版の広報等に平成19年度地域枠予算の内容について皆さんにお知らせしたいと思っております。

#### 加藤進会長

他にございませんか。なければ次に入らせていただきます。「集落会館等周辺環境整備事業支援費事務取扱要領」について、事務局から説明願います。

#### 地域振興課鈴木副参事

資料3「大仙市太田地域集落会館等周辺環境整備事業支援費事務取扱(案)」について説明しました。本庁との協議した段階では、特にいいのではという経緯もありましたが、太田地域自治区のルールといたしまして、申請行為に基づいて地域枠予算を執行して行きたいなーと言うことで一応案として作ったものでございます。以上です。

#### 加藤進会長

はい、ありがとうございました。何か、ご意見ご質問ございませんか。無いようですので次の報告事項に移らせていただきます。平成18年度予算で行われました「冬季少年野球教室」と「太田地域ふるさと講演会 小松由佳」の内容に

ついてですが最初に「冬季少年野球教室」について、鈴木弘之委員から簡単  
お願いします。

#### 鈴木弘之委員

12月12日の第6回地域協議会で急に「冬季少年野球教室」を提案させていた  
だき、皆さんから承認をしていただきありがとうございました。おかげさまで  
12月29日、少年野球教室を開催する事ができました。今年プロ野球日本一に  
輝いた北海道日本ハムの伊藤剛投手を招いて、太田交流プラザで開かれました。  
当日は大変天候が悪く参加者は85名程でしたが選手一人一人に丁寧に指導して  
くださいました。伊藤投手は、怪我をされて大変苦労して一軍にあがったと言  
う話や、オフを中心に大仙市でトレーニングをしているので、今後も大仙市の  
子供たちに無料で野球を教えたいと言う事を話しておりました。私も、さまざ  
まなプロの野球選手を知っていますが、このように丁寧に指導してくださる  
人柄の良い選手が大仙市内に居ると言うことは大変ほこりに思いましたし、大  
変いい人材を見つけたなーと思いました。ありがとうございました。

#### 加藤進会長

ありがとうございました。次に太田地域ふるさと講演会については、皆さんご  
承知かと思いますが事務局の方なにかありますか。

#### 地域振興課鈴木副参事

特にありませんが、600人ほどの方々から参加いただきまして大変ありがとうご  
ざいました。それから先般新聞では、第11回植村直巳冒険賞ということで小松  
由佳さんが受賞されるということがありまして大変喜んでいるところです。  
聞くところによりますと、大仙市の方で大曲の市民会館で小松由香さんの講演  
会を開きたいと言う市長の意向があるようで本庁総合政策課の方で日程等につ  
いて調整中ということであります。また、同時に市民賞の授与についても考え  
ているようです。以上です。

#### 加藤進会長

報告2件についてご説明等いただきましたけれども何かご質問等ございませ  
んか。無いようですので次にその他に入らせていただきます。

#### 加藤進会長

シャトルバスの利用状況について事務局からご説明願います。

#### 地域振興課鈴木副参事

シャトルバスの利用状況ということで、おもとの資料をご覧いただきたいと思います。大仙市では市全体で地域公共交通会議を設置しまして、大仙市の公共交通のあり方を検討していくという会が設置されました。協議事項については、「大仙市地域公共交通会議開催要綱」第2条のとおりですが、太田地域で実施しているシルバーシャトルバスについてもこの協議事項の中に入っているということでございます。第3条に構成員とすることで構成員メンバー25人以内とありますがその中に(10)番に各地域協議会代表8名とあります。当地域の地域協議会からは、倉田良子委員が選任されましてこの場でいろいろとご意見を発表していただくわけですが、事前にこの協議会でもシャトルバスについて協議して行きたいということで、倉田良子委員に情報なり皆さんの意見を伝えて代表して意見、要望等していただきたいな—というふうに考えております。あとで触れますが、当面平成19年度については、現状のままで運行していくスタイルで平成20年度から有料化した形で行くという方向で進めておるわけですが、ただそうした場合いろいろ制約がありまして、昨年の10月に道路輸送法の改正がありまして、有料化になった場合は誰でも自由に乗れるというスタイルになるわけで本来の目的とする福祉目的のなかで運用してきたものとは目的が若干違ってきます。停留所も今までは、簡易的なものでよかったものが立派な停留所を設置しなければならない等いろいろ制約があるわけですが、そのようなことについて平成19年度中にいろいろと検討していきたいと考えております。

(資料 太田シルバーシャトルバス運行表・図面によりシャトルバス、路線バスの現行経路について説明しました。)いずれ路線バスと競合しない形での運行経路を検討して行かなければならないということでございます。平成17年度の利用者数は、延べ人数にして9,917人でだいたい1万人近い人が利用しているような状況です。最近は、中里温泉への利用客が増えているようです。今後シルバーシャトルバスについては、地域協議会の中でいろいろとみなさんからご意見を聞く機会があるかと思っておりますのでよろしく願いいたします。併せて他の地域(中仙・仙北の一部を含む。)の方々の利用等についても考えて行かなければと思っているところです。

#### 加藤進会長

はい、ありがとうございました。なにかご質問ございませんか。はい、どうぞ。

#### 田口誠毅委員

だいたい1万人が利用しているという話ですが、100円をもらおうとすれば、100



万円にはなるわけですがそれをやるための施設設備経費が数千万円かかる話ですので、自分のことを考えた場合 75 歳を過ぎて車の運転をやれなくなった場合は、このような交通手段がすごく大事になってくると思います。そういった場合長続きするようにしなければいけないと思います。結局費用がかかるから止めた方がいいと最後に言われてしまう可能性があるかもしれない。今は、1 万人で無料でありいろいろ経費はかかっていると思うが、これが、有料にしたことによりかかりましになって経費が突出してしまうと根っこから崩されてしまいかねないものですから、出来れば無料のままで、100 円を取ったとしてもタダのパフォーマンスに過ぎないと思うし、100 円を取ってあうかといえは全然あわない話である。あたりの目を気にしての 100 円にしか見えない。75 歳以上の自分を考えて是非無料でお願いしたい。私の意見であります。倉田委員よろしく申し上げます。

#### 地域振興課鈴木副参事

今、田口委員のおっしゃった事はよくわかります。100 万円の収入があっても例えば停留所の維持管理は全部市負担となり、もしかして今以上の金がかかると言うことも想定されます。無料とすれば今のとおり運行できるわけですが、今の時代無料はどうかということで本庁のほうから 100 円でも、200 円でも有料化に向けて検討しなさい。ということできておりますので、いずれ田口委員の意見等この会で検討して行って倉田良子委員から頑張って発言していただければと言う方向で行きたいと思っております。3 月 16 日が第 1 回目の会議ということであります。

#### 加藤進会長

と言うことでよろしくお願いいたします。ほかにございませんか。なければ、情報交換に入りたいと思います。委員の皆さんからなにかございませんでしょうか。はい、鈴木弘之委員どうぞ。

#### 鈴木弘之委員

先週の日曜日でしたけれども東京マラソンがありまして、3 万 3 千人のランナーが参加して行われたのを皆さんテレビでご覧になったと思います。かなりの救急車の出動があったようですが、その中で心肺停止と言うことで 2 人の方が倒れましたたまたまそこに A E D 自動体外式除細動器というものがありまして 2 人の方の命が救われましたと言う事がありました。私は、年配の方がかかるものと思っておりましたが、実は、スポーツ少年団の活動をしていても、野球をしておりましてたまたま心臓の収縮したときにボールがぶつかるというくらい丈

夫な子供でも停止するということがあるようです。大変怖いものがあります。旧太田町は、非常にスポーツが盛んなところで各種大会が行われてきておりますが、不運にも選手が突然倒れてしまったとき、救急車が到着するまでの数分間、生死を左右するのは、早期の救命措置です。倒れてからの蘇生のチャンスは、1分ごとに救命率が7~10%下がると言われております。このようなことからどうか太田地域にもこのAEDという機械を設置していただきたいと思ひまして皆さんにご提案をしているところです。国体を開催するに当たりまして大仙市では、AEDの機械を8台用意したと聞いておりますが、大会本部の大曲の球場、中仙球場、体育館に設置と言うことで私たち太田地域には回って来ないようです。是非この場をお借りしまして皆さんから賛同を得まして市のほうに、この地域にAEDを1台でもいいですので設置いただけますよう協議会として要望していただきたいと思ひます。

平成19年度の予算は、大変厳しいと聞いておりますので、もし今年度の予算が余っているようであればお願いしたいと思ひます。いずれ計画的に設置していただければありがたいな—と思ひます。どうかよろしくお願ひします。

加藤進会長

はい、ありがとうございます。それは、いくらぐらいしますか？（鈴木弘之委員 40万円ぐらいです。1時間位の講習で誰でも簡単に操作は出来るそうです。）それは要望ですね。（鈴木委員 はい。）いずれすぐということには行かないでしょうが計画的にということですね。

大信田康雄委員

太田地域の太田国保診療所にそういうものをきちりと設置していつでも動けるようにしたらいかがでしょうか。そしてそれを使える人を講習会等開催し育てるとか、せつかくある診療所でありますのでそのようにして活用していったらどうかと思ひます。

加藤進会長

それは、そのとおりと思ひます。

鷹嘴支所長

今の考え方ですけれども、この地域枠予算の性格から見ると、今の鈴木委員の要望は、本予算で要求すべきものと思ひます。地域枠予算と言うのはあくまでも地域の活性化のために使われると言うことでしょうかから、さきほど福原委員の農業の営農集団への助成ですが、それについても農業というのは、事業であ

るわけです。事業に対しては、例えば出荷奨励金の交付というように政策的な制度で助成するということでもあります。個人の事業には、この地域枠予算のお金は使わない。本予算でやるべきである。と地域枠の予算とそこいら辺をきっちりとらえていかなければならないと思います。

鈴木弘之委員

地域枠予算 500 万円の中からこのお金を出してくださいということではありません。地域協議会として本予算で対応して下さるよう本庁の方へ要望して欲しいということでもあります。

鷹嘴支所長

そういう意味ですか。はい、承知しました。

大信田康雄委員

診療所の方に無いものでしょうか。無いとすれば、誰でも簡単に操作ができ救急の際、命を守る事ができるのであれば、旧市町村毎に1台ぐらいは設置した方がいいと思います。本庁のほうへ要望したらいいと思います。

加藤進委員

と言うことで、地域協議会で要望ありましたということで本庁のほうへ要望したいと思います。金額が40万円ぐらいだとすれば2台から3台はあってもいいように思います。他にございませんか。

藤原鈴司委員

確か、地域協議会の際「大仙市総合計画 太田地域版」と言うことで平成18年から平成22年までの計画した冊子をいただきましたけれども、平成18年度で実施すると言った事業は、とどこおりなく実施されましたでしょうか、太田地域として……。平成19年度についても予定どおりにいくのか、実は、大仙市総合計画版だと財政環境の変化と社会情勢の関係で変わる可能性があるとして最初に銘打って5カ年計画が出ているんですけどもそこいら辺のところを伺いたいわけです。実は、申し訳ないんですが、地元で「金井伝沢地区」のかんがい排水施設整備事業をやっているんですけども今年の事業があまりにも少なくて本当に来年終わるのかなーと疑問が持たれるように感じましたので、たまたま家の近くで目に付いたんで話しますけれどもよろしくお願ひします。

鷹嘴支所長

平成18年度の太田地域の実施計画の達成状況ですが確かに部分的には全部出来ているとは言いかねます。まだ正式には確認していませんが、今藤原委員の言われた金井伝沢ですが事業計画の事業量を縮小して今年度で終わりであります。実は用地の問題で対応ができなかったというのが実態であります。その他予算の関係で事業量を後回しにしたところもあります。あと平成19年度の状態ではありますが厳しい予算ですので当初に立てた実施計画どおりは到底無理と言うことで改めてもう1回実施計画を組み直しをしてございます。がそれでも無理と言うことであくまでも計画は、計画であると予算の裏付けが出来た段階でやってもいいのでは？ いろいろな意見がありまして平成19年度の一応ヒアリング等は終わりましたけれども正式に平成19年度以降公表になってございません。ですから毎年見直しをしていくと、地域的バランス等考慮していかなければいけない。そこいら辺の兼ね合いが非常に厳しい。必ずしもそのとおりには行かない、あくまでも計画であると言う捉え方をしていかななくてはならないだろう、特に平成19年度以降はそういうふうを考えております。

藤原鈴司委員

それは、そういうことで公表されるわけですね。打ち切りとか、止めたとかと。

鷹嘴支所長

議決事項でありますので、金井伝沢については、まだ正式に決まったわけありませんので議決になった段階では、地域にはお話あるようです。

藤原鈴司委員

金井伝沢地区は毎年雨が降る時期になりますと、崩れると言うことで地域住民で土嚢を積んだりして対応しているんですが、近くに堤があるわけですがあそこいら辺もくずれかかってきておりますので決壊すると言う可能性があれば非常にまずいと思いますので現場を見ていただいて地域住民に十分説明できればいいと思うんですけれどもよろしくお願いします。

鷹嘴支所長

用地の関係があったようで、とてもじゃないけどやれないと言うことで国県のお金が来ておりますのでその分を斉内の方に回しまして、斉内の方を早く完成しようと言うことであります。

藤原鈴司委員

わかりました。いろんな形で要望していくと思います。よろしくお願いします。あともう1件、先日、テレビで学校給食の未払いについて報じておりましたが大仙市全体では、未払いがものすごい金額です。また太田地域でも私もPTA会長のため聞こえてくるんですがこんな財政難の時そんなに未払いがあつていいものなのかという感覚でいるんですが何かそこいら辺の対応を考えているのでしょうか。

#### 鷹嘴支所長

市に納める正式のもので、税と保育料、あるいは、給食費とはまるっきり取り扱いの性質が違います。税と言うことであれば行政処分と言うことで一定の手続きを踏んで滞納処分、差し押さえ等も出来るわけですが、他の物については、それらの処分がございません。国保税も同じく税ですので出来ますが、国保税となればまた若干取り扱いが違ってくるといふような性質のものであります。そんな中で太田ではどうかということ太田にも未納はあります。かなり古いものもあります。ただし本人が納める意思があると100円のを10円でもそのようなものであればどこまでも納めてもらうように持って行くんですが、税であれば例えばある一定期間経過後不納欠損処分ができる制度がございますが、給食費にはそういう制度はございません。実際中身を見ますともうその子供は、卒業して太田にはいないという状況だったりいろいろであります。太田の未納額は、189万円ぐらいです。未納者に対しては、督促の発送、個別訪問等行い徴収に努めているところです。

#### 藤原鈴司委員

地域枠予算500万円の使用に知恵を絞っているときに未払いでそれ以上の額が滞納となっているのはどうも矛盾を感じます。

#### 加藤進会長

いずれ地域協議会で、要望するようなことではないかもしれませんが税でも給食費でも住宅の使用料でも未納があるはずなので、徴収する方法として行政としていてと考えてやっているとは思いますが、なおいっそう頑張ってもらいたいということではないでしょうか。(委員 そうです。)他にいい情報はないでしょうか。

#### 小松誠委員

平成18年度は、地域枠予算の協議検討が主でありましたが、平成19年度は、昨年と違って地域枠予算の執行計画が策定されそれに基づいて執行されるわけ

ですので、いよいよ3年目を迎えて地域協議会本来の活動をするべきと思います。例えば、学校統合とか、給食費の滞納の問題・シルバーシャトルバスの件などこういうのを地域協議会の中から問題を発信していきたいな—と思います。市長は、我々に何か聞きたい事がないものでしょうか。地域協議会は市長が諮問したり意見を求める機関であるが今まで一回もないように思う。そういうことについてもいろいろ議論していきたい。

#### 鷹嘴支所長

私の方としては、市長から諮問される前にこちらで議題としてやる、その姿勢の方がもっともっと大切なのではないかな—と思っています。わざわざ市長のほうからどうのこうのと言われる前に私の方では、これについては、こう考えています、と。ですからこれからあらゆる問題が出てくるとは思いますが、そういう姿が皆さんの自主的な活動であり、それが本来の地域協議会の姿ではないかな—と思います。何も遠慮しないでどんどん議論していったらいいと思います。

#### 加藤進会長

小松委員が言ったとおり、今までは地域枠予算にとらわれてばかりいたという状況だったと思います。これは、事実です。今度は、皆さんの行政に対する意見を市長に届けると言うような格好で皆さんの提案をいただきながら市長へ提案して行きたいと思しますのでどうかよろしくお願い申し上げたいと思います。他に何かありませんか。

#### 藤原鈴司委員

前回学校統合のことでお話ししましたがけれども何か情報等ありますか。(事務局特にありません。)地域協議会の際、教育長等関係者に出席いただき学校統合についての情報をお知らせいただきたいと思いますが、よろしくお願いします。

#### 加藤進会長

次回の協議会は3月23日と決定されておりますので市長へ何か要望等ありましたら述べてもらえればと思っているところです。他にございませんか。

#### 大信田康雄委員

地域協議会の意見として、福原榮司委員の農業の活性化支援について、鈴木弘之委員のAEDの設置、出荷補助金・作付け奨励金の件について、藤原鈴司委員の大仙市総合計画(実施計画)の進捗率の状況等についての要望、意見があ

りましたが、この中から市長から直接おはなしを伺い答えていただきたいと  
います。

加藤進会長

わかりました。あまり多くなく2つか3つ位に絞って要望することにしたいと  
思います。いかがでしょうか。(賛成の声あり)事務局にお願いします。  
他にありませんか。なければこの辺で閉じたいと思います。長い間どうもあり  
がとうございました。

議事録署名委員

---

---